

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年1月5日(2012.1.5)

【公表番号】特表2011-503190(P2011-503190A)

【公表日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-004

【出願番号】特願2010-534128(P2010-534128)

【国際特許分類】

A 6 1 K	8/81	(2006.01)
A 6 1 K	8/19	(2006.01)
A 6 1 K	8/41	(2006.01)
A 6 1 K	8/06	(2006.01)
A 6 1 K	8/36	(2006.01)
A 6 1 K	8/37	(2006.01)
A 6 1 K	8/11	(2006.01)
A 6 1 Q	19/00	(2006.01)
A 6 1 Q	17/04	(2006.01)
A 6 1 Q	1/02	(2006.01)
A 6 1 Q	13/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	8/81	
A 6 1 K	8/19	
A 6 1 K	8/41	
A 6 1 K	8/06	
A 6 1 K	8/36	
A 6 1 K	8/37	
A 6 1 K	8/11	
A 6 1 Q	19/00	
A 6 1 Q	17/04	
A 6 1 Q	1/02	
A 6 1 Q	13/00	1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月8日(2011.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 8】

更に、各々の列挙した範囲は、範囲の全ての組合せおよび下位組合せ、更にそれに含まれる具体的な数を包含する。加えて、本明細書で引用または記載する各特許、特許出願および公報の開示はその全部を参照により本明細書に組入れる。

以下の態様もまた開示される。

[ 1 ] 低粘度疎水性液体パーソナルケア活性物質を保護する方法であつて：

界面活性である能力を有するポリオレフィン酸コポリマー、水、および塩基を含む混合物を形成すること；ならびに

該活性物質を該混合物と組合せて、懸濁した活性粒子を形成すること；を含む、方法。

[ 2 ] 該塩基が N a O H 、 K O H 、またはトリエタノールアミンである、上記 [ 1 ] に記載の方法。

[ 3 ] 該混合物を形成するステップが、ポリオレフィン酸コポリマーと塩基とを組合せ、その後水を添加することを含む、上記 [ 1 ] に記載の方法。

[ 4 ] 該活性物質を該混合物に添加する、上記 [ 1 ] に記載の方法。

[ 5 ] 該組合せのステップが、該混合物を乳化することを含む、上記 [ 1 ] に記載の方法。

[ 6 ] 該コポリマーを沈殿させることによって該活性粒子の周りにシェルを形成することを更に含む、上記 [ 1 ] に記載の方法。

[ 7 ] 該シェルによって規定される該粒子の粒子サイズが、 $2 \mu m$  未満、好ましくは  $1.8 \mu m$  未満、好ましくは  $1.6 \mu m$  未満、好ましくは  $1.4 \mu m$  未満、好ましくは  $1.2 \mu m$  未満、および好ましくは約  $1 \mu m$  である、上記 [ 6 ] に記載の方法。

[ 8 ] 該沈殿のステップが、該混合物の pH を低下させることを含む、上記 [ 6 ] に記載の方法。

[ 9 ] 該 pH をクエン酸で低下させる、上記 [ 8 ] に記載の方法。

[ 10 ] 該沈殿のステップが、安定剤を該混合物に添加することを更に含む、上記 [ 6 ] に記載の方法。

[ 11 ] 該パーソナルケア活性物質が、ビタミン、エモリエント、サンスクリーン、油系顔料分散体、エッセンシャルオイル、または香料である、上記 [ 1 ] に記載の方法。

[ 12 ] 該パーソナルケア活性物質がオクチノキセートである、上記 [ 1 ] に記載の方法。

[ 13 ] 該パーソナルケア活性物質が香料である、上記 [ 1 ] に記載の方法。

[ 14 ] ポリオレフィン酸コポリマーが、約 9 ~ 約 22 質量パーセントのアクリル酸単位、好ましくは約 18 ~ 約 22 質量パーセントのアクリル酸単位、好ましくは約 19 ~ 約 21 パーセントのアクリル酸単位、および最も好ましくは約 20 アクリル酸単位を有するエチレン / アクリル酸コポリマーである、上記 [ 1 ] に記載の方法。

[ 15 ] 該混合物におけるエチレン / アクリル酸コポリマーの活性物質に対する比が、約 1 : 1 ~ 約 1 : 20 、好ましくは 1 : 5 ~ 約 1 : 15 、最も好ましくは約 1 : 10 である、上記 [ 14 ] に記載の方法。

[ 16 ] 該エチレン / アクリル酸コポリマーが、約 4.5 質量パーセント ~ 約 50 質量パーセント、好ましくは約 6.3 質量パーセント ~ 約 17 質量パーセント、最も好ましくは約 9 質量パーセント存在する、上記 [ 14 ] に記載の方法。

[ 17 ] 低粘度疎水性液体パーソナルケア活性物質をエチレン / アクリル酸コポリマーでカプセル化する方法であつて：

エチレン / アクリル酸コポリマー混合物の pH を約 7 超に上昇させること；

該活性物質を該混合物中で分散させること；および

該コポリマーを沈殿させることによって該活性物質の周りにシェルを形成すること；を含む、方法。

[ 18 ] 低粘度疎水性液体パーソナルケア活性物質；およびポリオレフィン酸コポリマー混合物；を含む、組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

低粘度疎水性液体パーソナルケア活性物質を保護する方法であつて：

界面活性である能力を有するポリオレフィン酸コポリマー、水、および塩基を含む混合物を形成すること；ならびに

該活性物質を該混合物と組合せて、懸濁した活性粒子を形成すること；  
を含む、方法。

【請求項2】

該コポリマーを沈殿させることによって該活性粒子の周りにシェルを形成することを更に含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

該シェルによって規定される該粒子の粒子サイズが1.6 μm未満である、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

該パーソナルケア活性物質が、ビタミン、エモリエント、サンスクリーン、油系顔料分散体、エッセンシャルオイル、または香料である、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

該パーソナルケア活性物質が香料である、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

ポリオレフィン酸コポリマーが、9~22質量パーセントのアクリル酸単位を有するエチレン/アクリル酸コポリマーである、請求項1に記載の方法。